

## 資料2 「家族でNO! ネットストップカレンダー」 を作成しました

中学生自らがネット利用への問題意識を持ち、課題を解決することを目的に、県内で初めて、中学生の企画提案による「ネット利用対策」の啓発品を作成しました。市内全中学生に配布し、家庭での取り組みを広げ、充実することで、ルールの定着を図ります。

### 1 ネットストップカレンダーの特徴

- (1)家庭でスマホやネットに関するルールを決めるきっかけになり、親子のコミュニケーションがアップ!
- (2)マグネットシートで、家族や自分がよく目にする場所(冷蔵庫やとびら等)に貼れる!
- (3)簡単に書いたり消したりでき、何度でも新しいルールにチャレンジ!



### 2 ネットストップカレンダーができるまで

#### ステップ1 「各小中学校のルールづくり」

平成28年度の子どもたちのインターネット利用実態調査の結果、市内の子どもたちの利用率は、全国平均に比べ高い結果となった。

このことから、インターネット利用に関する様々なリスクやトラブル等の回避と正しいインターネット利用を身に付けるため、市内全ての小・中学校で独自のネット利用に関するルールを作成し、ルールの普及啓発に取り組んでいる。

#### 小杉小学校 インターネット利用の約束

- 時間を決めて、家族のいるところで使用する
- 機能制限やフィルタリングを設定した機器を使用する
- ネット上に名前や住所など個人情報をのせない
- 人の悪口やうわさ、うそを書いたり送ったりしない
- お金のかかるサイトは使用しない
- 困ったときは、家族や先生に必ず相談する

#### 小杉中学生徒メディア利用の心得

- 1 利用時間を守ろう
  - ・コミュニケーションツールは21時まで
  - ・その他のメディアは22時まで
  - ・22時以降は電源OFF
- 2 ネット上に個人情報を載せない
- 3 ながらメディアはやめよう
- 4 相手と自分の時間を大切にしよう
- 5 メディアに打ち克つ強い人間になろう

## ステップ2 「プレゼンテーションの開催」

中学生がネット利用に対する問題意識を持ち、自ら解決することを目的に市内中学生を対象としたネット利用対策に関する企画を全中学校へ募集。

その中から選ばれた新湊中学校と新湊南部中学校の2校によるプレゼンテーションを昨年12月に実施。



新湊中学校のプレゼンテーション

企画立案までの両校の取り組み

ルールづくり後の実態調査（アンケートの実施や話し合い）

見えてきた課題の把握

ルールの定着が進んでいない現状とその理由  
課題を解決する方法の検討

ルールの定着が大切

両校の企画の共通点

ルールの定着を目指して、家族の協力を得ながら実践できる啓発品の作成



新湊南部中学校のプレゼンテーション

## ステップ3 「全中学校でシール投票を実施」

2校の企画を組み合わせ、3つのデザイン案を作成。

中学生1人ひとりが、自分たちが選び、自分たちが活用するという主体性を持つとともに、全体の意見を反映するため、全中学校でシール投票を実施。

（投票数 2,461票）

投票の結果、1,364票を獲得した「家族でNO！ネットストップカレンダー」のデザインが採用。



生徒集会による説明



シール投票

・子どもたちが正しいネット利用方法を理解し、身に付けていくためには、周囲の支援が必要。

・家族でNO！ネットストップカレンダー」の活用に取り組むことで、家族のコミュニケーションづくりにもなり、家庭内での積極的な活用に向けて周知（中学校での啓発や広報いみずへ掲載）を図る。